

## 旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和元年 8 月 2 7 日
発信課	観光課
担当者	大塚, 中山
連絡先	電 話 0166-25-7168
	F A X 0166-26-8585
	Email kankou@city.asahikawa.hokkaido.jp

分 類	<input checked="" type="checkbox"/> イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日 程	9 月 6 日 ~ 9 月 7 日
発表項目 (行事名)	「将来の課題のための日・オーストリア委員会」第 2 3 回会合の 開催について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>9 月 6 日から 2 日間、外務省主催による「将来の課題のための日・オーストリア委員会」第 2 3 回会合が旭川市で開催されることとなりました。本委員会は、両国間の交流・相互理解の促進を目的に様々なテーマで両国の委員が議論する、両国間で唯一の官民フォーラムとなっており、毎年、日本とオーストリア交互に開催している。公開シンポジウムでは「観光と地方経済の活性化」をテーマとして、観光大国である日本・オーストリア双方における取組を紹介するとともに、観光を通じた地域振興について意見交換を行い、地方経済の活性化について考えます。</p> <p>公開シンポジウムの他にも現地視察などを行う予定。つきましては、報道方よろしくお願ひ申し上げます。</p>
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 別紙全体プログラム案 公開シンポジウムチラシ (現物は BOX に配布済)
取材時のお願い	
備 考	

# 「将来の課題のための日・オーストリア委員会」第23回会合 全体プログラム(案)

9月6日(金)

## (1)公開シンポジウム (於:星野リゾート OMO7旭川 3階 瑞雲東西の間)

10:00-10:15 オープニング

旭川市長による挨拶

両国委員長による挨拶

10:15-12:30 テーマ「観光と地方経済の活性化」

日本側基調講演(各30分)

スピーカー1:荒井一洋 NPO法人大雪山自然学校代表理事

スピーカー2:吉田聡子 株式会社桐光クリエイティブ代表取締役

オーストリア側基調講演(各30分)

スピーカー1: ペトラ・ノッカー＝シュヴァルツェンバッハー

オーストリア産業院(WKO)観光・レジャー産業部門総裁

スピーカー2:フロリアン・フレプス (有)チロル広告会社社長

12:30-12:45 委員間のディスカッション

12:45-13:00 フロアとの質疑応答

13:00-13:05 総括セッション(司会による全体総括, 両国委員長に閉会挨拶)

13:15-14:15 佐藤会長主催昼食会(於:おかだ紅雪庭)

## (2) 視察

旭岳

## (3)旭川市長主催歓迎レセプション(於:星野リゾート OMO7内3階 彩雲の間)

19:00-20:30

旭川市長による歓迎の挨拶

佐藤会長による挨拶

マツアール教授による挨拶

9月7日(土)

(1)非公開セッション(於:星野リゾート OMO7 2階 孔雀又は白鳥の間)

10:00-10:10 オープニング

両国委員長挨拶

10:10-11:35 テーマ1「観光とデジタル化」

日本側基調講演(各15分)

スピーカー1:藤原達也 一般社団法人北海道産学官研究フォーラム事務局長

スピーカー2:斎藤一 北海道情報大学教授

オーストリア側講演(約30分)

スピーカー:クリスティアン・マウラー IMC クレムス応用科学大学教授

ディスカッション(約25分)

休憩

11:45-12:50 テーマ2「地方経済と女性の活躍」

日本側基調講演(約20分)

スピーカー:大崎 麻子 関西学院大学総合政策学部客員教授

オーストリア側基調講演(約20分)

スピーカー:オラーフ・カペッラ ウィーン大学家庭学研究所上級研究員

ディスカッション(約25分)

12:50-13:05 司会による総括セッション(司会による全体総括, 両国委員長の挨拶)

13:10-14:10 外務省主催昼食会(於:星野リゾート OMO7旭川内2階昼食会場)

(2)視察(希望者)

旭山動物園など

# JAPAN × AUSTRIA OPEN SYMPOSIUM

「将来の課題のための日・オーストリア委員会」第23回会合 公開シンポジウム

## テーマ 観光と地方経済の活性化

2019.9.6 **金** 開場/9:30 開演/10:00  
(13:00終了予定)

会場/星野リゾート OMO7 旭川 3階 瑞雲東西の間  
(旭川市6条通9丁目)

日英  
同時通訳

定員  
先着200名  
参加費  
無料



「将来の課題のための日・オーストリア委員会」は、両国間の交流・相互理解の促進を目的に  
設立された両国間に存在する唯一の官民フォーラムです。

毎年、日本とオーストリア双方で開催しており、23回目の本年は旭川市で開催することとなりました。

今回の公開シンポジウムでは「観光と地方経済の活性化」をテーマに、

観光大国である日本・オーストリア両国における取組みを紹介するとともに、

観光を通じた地域振興について意見交換を行い、地方経済の活性化について考えます。

〔講演時間〕 10:15～10:45



NPO法人 大雪山自然学校代表理事

荒井 一洋氏



ニュージーランド・Lincoln University・Bachelor of Parks, Recreation, Tourism Management (国立公園管理と自然保全専攻) 卒業。北海道大学大学院・観光創造専攻。2000年に自然体験活動を推進するNPO法人ねおすに参画。2001年、北海道東川町にて「大雪山自然学校」を設立。2年前から森のようちえん「キトキト」を開園、子供から大人まで自然体験活動ができる環境を整えている。また、NPO法人日本エコツーリズムセンター理事、アジアエコツーリズムネットワーク理事、北海道アドベンチャートラベル協議会長の活動をおとして、国内外にて、観光を手法とした持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

〔講演時間〕 11:25～11:55



オーストリア産業院(WKO)観光・レジャー産業部門総裁

ペトラ・ノッカー＝シュヴァルツェンバッハー氏



ビジネススクール、バード・ホフガスタイン ホテル・マネジメントスクールを修了、1992年より家業のホテル「Brückenwirt / Tennerhof」を継ぐ。2010年6月より、オーストリア産業院(WKO)観光・レジャー産業部門総裁を務める。

〔講演時間〕 10:45～11:15



株式会社桐光クリエイティブ 代表取締役

吉田 聡子氏



経済、地域番組のディレクターを経て、プロモーションプロデューサーとして、数多くの企業や大学、地域、研究機関等のブランディング・プロモーションを実施。「価値発掘」「価値の伝え方」「広報戦略」等に関する講演・セミナー歴多数。2018年3月、組織づくりを主業務とする「みらいパリュウクリエイティブ株式会社」をみらいコンサルティング株式会社(本社東京)と共同で設立し、代表取締役社長就任。公職は、内閣府ふるさとづくり実践活動チームメンバー、北海道商工業審議会委員、北海道科学技術審議会委員、札幌市行政評価委員、スイツ王国さっぽろ推進協議会事務局長、札幌商工会議所議員等。

〔講演時間〕 11:55～12:25



チロル広告会社 代表

フロリアン・フレプス氏



インスブルック大学法学部を卒業後、ピラー・ゼー・タール観光局のマネジメントを担当。2007年、カリフォルニア大学で政治学、マーケティング、国際ビジネス及び国際法コースを修了。2013年9月、キッツビュール・マーケティング社代表。2015年6月チロル観光局のマーケティング担当に任命された。2016年12月、チロル観光局のジェネラル・マネージャーに就任、2019年1月より現職。

参加申込書

8/31(土)までに、お申し込みフォームよりお申し込みいただくか、

必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。★は必須項目ですので必ずご記入ください。

組織・団体名			
申込代表者氏名★			

住所	〒 —		
電話★		FAX	
メールアドレス			

その他の参加者氏名			

※定員に達した場合は募集を締め切らせていただきます。

お申し込み・お問合せ先

[FAX] 0166-73-6992 [E-MAIL] symp@taisetsu-kamui.jp [お申し込みフォーム] <https://ws.formzu.net/fgen/S62727558/>

日・オーストリア委員会旭川誘致歓迎実行委員会 事務局 ((一社)大雪山カムイミントラDMO 内) 担当: 島・坂 TEL 0166-73-6968

